

CC

医療公社

# 経営状況説明書

〔公益財団法人浜松市医療公社の  
令和5年度事業計画〕

# 目 次

	頁
1 令和5年度事業計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2 令和5年度予算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17

## 公益財団法人浜松市医療公社の令和5年度事業計画について

公益財団法人浜松市医療公社の令和5年度事業計画を地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 中 野 祐 介



令和 5 年 度

# 事業計画の概要

## 1 病院基本理念

安全・安心な、地域に信頼される病院

## 2 病院基本方針

- (1) 患者の権利と尊厳を尊重し、患者中心の安全・安心な医療を提供します。
- (2) 地域医療支援病院として、地域医療連携ネットワークを強化します。
- (3) 地域の救急・災害医療を支え、小児・周産期医療を守ります。
- (4) 高度かつ先端医療を推進します。
- (5) 医療に関する調査・研究を推進し、国内外に情報を発信します。
- (6) 職員の教育・研修に努め、真の医療人を育成します。
- (7) 効率的な病院経営に努め、健全な財政基盤を確立します。

## 3 病院目標

- (1) 地域連携の強化と高度で良質な医療を提供することにより地域の医療水準の向上を図ります。
- (2) 医療制度改革や地域医療構想の動向を的確に把握し効果的な収入増加と費用削減に努めます。

## 4 事業内容

- (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

### ア 政策的医療に関する業務

#### (7) 救急医療

- あ 二次救急医療機関並びに三次救急医療機関としての責務を果たします。
- い 24時間365日断らない医療の実現に向けて、円滑に外来・入院診療が受けられる体制を充実します。
- う 救急医療の重要性を認識し、救急搬送患者及び紹介患者を積極的に受け入れます。
- え 新病院の集中治療・救急医療の運営に向けて、診療体制の充実を図ります。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
救急患者数	11,494 人	12,331 人	12,500 人	169 人
入院	4,847 人	4,714 人	5,000 人	286 人
外来	6,647 人	7,617 人	7,500 人	△117 人
救急搬送受入患者数	6,156 人	6,475 人	6,500 人	25 人
救急搬送患者応需率	84.3%	74.8%	85.0%	10.2 ポイ

#### (イ) 小児・周産期医療

- あ 地域周産期母子医療センターとして、産婦人科医師を確保し、母体及び胎児に対して安全な医療を提供します。
- い **充実** 分娩受け入れ件数の維持のため、さらなる戦略（広報による情報発信や市立湖西病院への助産師派遣等）を講じ、運営整備を行います。
- う 母体搬送及び新生児搬送の受け入れ増加に対応するため、早産児・低出生体重児クリニカルパスを活用し、標準化した質の高い医療を提供します。

- え 産婦人科専門医と麻酔科専門医による分娩管理のもと、質の高い安全な無痛分娩を継続して提供します。
- お 安心して子育てができるよう支援するため、産後ケア事業の推進を図ります。
- か **新規** NIPT（非侵襲性出生前遺伝学的検査）実施認定施設として、陽性と診断された妊婦に寄り添い、チームで不安なくサポートできる体制を充実します。
- き 地域の小児医療の中核的役割を果たすため、小児一時救急（休日当番診療）の担当をはじめ、小児救急医療の安定的かつ継続的な提供に努めます。
- く **充実** 小児入院患者の増加を図るため、アレルギー・免疫・内分泌代謝疾患等の診断や状態評価の検査入院を促進します。
- け **新規** 新病院開院後から小児血液・腫瘍の治療を開始する体制を整備します。

目標指数		R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
小児科延べ 患者数	入院	3,420 人	2,887 人	3,500 人	613 人
	外来	17,904 人	17,722 人	17,800 人	78 人
分娩件数		658 件	558 人	600 件	42 件

(ウ) 感染症医療

- あ **充実** 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として、治療及び検査を必要とする患者を迅速に受け入れる体制を確保維持します。
- い 新型コロナウイルス感染症の蔓延、拡大に対して、県、市、地域医療機関とさらなる連携を図り、市民の安全確保及び感染対策に取り組みます。
- う 新型コロナウイルス感染症の対応等を学びとした感染対策 BCP マニュアルを整備します。
- え **新規** 新病院開院に向けた新興感染症の初期対応と入院病棟の運営方法の検討を進めます。

(エ) 災害時医療

- あ 災害時において、傷病者の受け入れ及び医療救護班（DMAT）の派遣等、災害拠点病院として医療救護活動を実施します。
- い 浜松地区人工透析施設災害時拠点病院として、患者の受け入れに迅速に対応します。
- う 新病院開院に向けた防災対策 BCP マニュアルの策定に着手します。

(オ) 障がい者歯科診療

- あ 一般診療所では困難な患者の歯科診療を行い、地域歯科診療の中核的役割を果たします。
- い 口腔疾患の重症化予防及び口腔機能低下への対応、並びに生活の質に配慮した歯科診療を推進します。

イ 高度・専門医療に関する業務

(7) 高度・先進的医療

- あ ロボット（ダヴィンチ）手術による手術症例数の増加を図り、患者への負担が少ない手術の実施に努めます。
- い 白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの専門的治療を積極的に実施します。
- う 血友病診療に対する地域中核病院の認定施設として、個々のニーズに応じた最適な治療を提供します。
- え 股関節・膝関節への人工関節を中心とする下肢関節再建手術治療を、市内だけでなく市外の患者にも専門的な医療として提供します。
- お **充実** 新病院の手術室・血管造影室を最大活用し、脳血管疾患、心臓血管疾患、動脈閉塞性疾患やブラッドアクセス等の血管疾患に対する専門性の高い治療を提供します。
- か 突発性難聴、難治性潰瘍を伴う末梢循環障害等に対する高気圧酸素治療の有効性を地域の開業医に発信し、早期からの積極的な治療を推進します。
- き 尿路結石等の結石に対して、副作用や後遺症が少ない体外衝撃波結石破碎治療（ESWL）の提供の充実を図ります。
- く **新規** 関節リウマチに対する教育入院を導入し、浜松市及び館山寺温泉と連携して温泉利用による健康増進プランの策定を検討します。
- け **充実** 脳卒中救急患者の受け入れ件数のさらなる増加を図り、血栓回収療法を 24 時間 365 日可能な中核となる施設整備を着実に進めます。
- こ **新規** 心肺運動負荷試験装置（CPX）を導入し、外来における心臓リハビリテーションを実施します。
- さ **新規** 重症患者を 24 時間通じた濃密な観察のもとに、集中的に治療する ICU 開設に向けた体制及び運用を構築します。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
手術件数(手術室)	5,782 件	6,172 件	6,200 件	28 件
全身麻酔件数	2,233 件	2,348 件	2,350 件	2 件
手術支援ロボット（ダヴィンチ）実施件数	46 件	37 件	48 件	11 件
心臓血管外科 開心術・バイパス移植術件数	44 件	48 件	60 件	12 件
血管内治療手術件数	606 件	733 件	770 件	37 件
脳神経外科	46 件	54 件	60 件	6 件
循環器内科	473 件	572 件	600 件	28 件
血管外科	87 件	107 件	110 件	3 件
人工関節置換術（股・膝）件数	170 件	165 件	170 件	5 件
高気圧酸素治療延べ患者数	821 人	1,499 人	1,500 人	1 人
体外衝撃波結石破碎治療件数	10 件	18 件	25 件	7 件

(イ) がん診療

- あ 地域がん診療連携拠点病院として、質の高い診断と治療（手術・放射線治療・化学療法）の提供、積極的な患者支援を遂行します。

- い がん化学療法の専門性を高め、患者へ安全に治療提供するため、外来化学療法室でより多くの症例を実施できるように進めます。
- う **充実** がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療を推進するため、がん遺伝子パネル検査の実施並びに遺伝カウンセリングの充実を図ります。
- え がんに伴う症状や治療による副作用を軽減する目的で行う支持療法の推進及び頭皮冷却装置による脱毛の予防等、がん患者の生活の質を維持します。
- お 緩和ケアチームの新規介入を積極的に対応しつつ、緩和ケア病棟開設に向けた体制及び運用を構築します。
- か 院内がん診療連携拠点病院4病院共同で行政や企業主との連携のもと、がん患者就労対象者の支援を推進します。
- き がん患者の周術期における専門的な口腔ケアの提供の充実を図り、医科歯科連携を推進します。
- く 専門・認定看護師の活動を強化し、がん患者への心理ケアや治療の意思決定支援の充実を図ります。
- け 乳がん・卵巣がんにおいて遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）と診断された方やその疑いのある方に対する遺伝カウンセリングやリスク低減手術の提供の充実を図ります。
- こ 浜松市教育委員会と協働し、市内小・中・高校生へのがん教育推進に努めます。

目標指数	R3 年度報告 (令和2年1~12月)	R4 年度報告 (令和3年1~12月)	R5 年度見込み (令和4年1~12月)	増減(R5-R4)
院内がん登録数	975 件	930 件	1,000 件以上	70 件以上

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
がん手術件数	578 件	633 件	650 件	17 件
薬物療法延べ患者数	1,594 人	1,692 人	1,700 人	8 人
放射線治療延べ患者数	229 人	206 人	260 人	54 人
緩和ケアチーム新規介入件数	220 件	200 件	240 件	40 件
がんゲノム遺伝子パネル検査件数	21 件	32 件	30 件	△2 件
がん患者指導管理料算定件数	3,433 件	2,721 件	2,800 件	79 件

(ウ) アレルギー診療

- あ アレルギー疾患医療拠点病院として、患者やその家族、医療従事者を対象とした定期的な講習会の開催や地域住民への啓発活動等に取り組みます。
- い 総合アレルギー外来により、診療科の垣根を越えた包括的かつ専門性の高いアレルギー診療を提供します。

(エ) エイズ治療

エイズ治療拠点病院として、エイズ感染者の診療及び関係医療機関等への研修活動等を実施し、県内のエイズ治療の中核的役割を果たします。

(オ) 臓器・骨髄移植に関する医療

- あ 骨髄・末梢血幹細胞の移植及び採取認定施設として、移植医療提供の推進に努めます。

い 日本臓器移植ネットワーク・県コーディネーターと連携し、円滑な臓器移植提供を実施し、臓器移植医療に貢献します。

ウ 地域医療への貢献

(7) 地域住民の健康増進及び疾病予防

- あ **充実** 新病院整備事業の計画に向けた特定健康診査（特定健診）、企業健診（生活習慣病予防健診）及び人間ドック並びにがん検診等の実施件数を計画的に増加できる運営体制を整備します。
- い 人間ドック健診並びに出張健診車での訪問型健診の実施日を拡大するための体制強化を図ります。
- う 予防医療等生活指導（特定保健指導・健康相談）の件数増加と将来の健康保険組合特定保健指導実施依頼に対応できる体制を構築していきます。
- え 地域住民・企業健診の胃がん検診に対して、内視鏡（胃カメラ）検査を充実し、特定健診と企業健診を同時に実施する体制の充実を図ります。
- お 経口と経鼻内視鏡検査を選択できる運用を構築し、受診者の満足度を高めていきます。
- か 全国的に受診率が低い扶養者の健診（扶養者特定健診）を積極的に行い、浜松市の受診率向上に貢献していきます。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
特定健診	16,338 人	17,177 人	16,850 人	△327 人
うち人間ドック	814 人	807 人	830 人	23 人
胃がん検診	7,066 人	7,116 人	7,150 人	34 人
大腸がん検診	10,999 人	11,322 人	11,300 人	△22 人
結核肺がん検診	16,449 人	17,350 人	16,850 人	△500 人
子宮がん検診	3,877 人	4,172 人	4,000 人	△172 人
乳がん検診	2,614 人	2,600 人	2,700 人	100 人
特定保健指導・健康相談実施人数	259 人	174 人	250 人	76 人

(イ) 地域診療所等との連携

- あ 計画的に開業医への訪問活動を実施し、病診連携の運営に反映させ、紹介患者の確保に努めます。
- い 紹介患者を断らない体制強化のため、各診療科責任医師が緊急時の窓口となり、開業医からの診療依頼に対応します。
- う 地域医療連携システム（メディグル）を活用し、開業医等の情報を院内で共有できる仕組みの構築並びに当院としてアピールするセンターや診療科の PR 誌を作成し、戦略的な連携を実施します。
- え **充実** 紹介いただいた医療機関に対して、治療状況に即した報告書を送付する等、確実な返書管理の徹底を図ります。
- お 紹介率の維持・向上を図るため、各診療科と連携強化を図り、紹介患者を積極的に受け入れます。
- か 逆紹介が円滑に進むよう、診療情報提供書記載の徹底を図り、地域医療を推進します。
- き **充実** 退院支援職員を各病棟へ専属配置とし、DPC による在院期間を意識しながら入院早期から適切な退院支援を実施します。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
紹介率	75.1%	75.9%	76.0%以上	0.1 ポイント
逆紹介率	98.1%	105.3%	100.0%	△5.3 ポイント
入退院支援加算算定件数	4,074 件	4,351 件	4,400 件	49 件
介護支援等連携指導料算定件数	1,081 件	1,117 件	1,200 件	83 件

## エ 地域における医療水準の向上

### (7) 医療従事者及び医療従事者を目指す者の育成

- あ 浜松医科大学医学部附属病院との連携強化のもと、新病院開院を見据えた事業拡充分野での協力・共同体制を推進するため、両病院間の医師の交流を図ります。
- い 浜松医科大学の関連教育病院として、医学部学生の臨床実習の受け入れ体制を整備し、医療従事者の育成に努めます。
- う 浜松市立看護専門学校への講師派遣及び看護実習生の積極的な受け入れ等を行い、地域の医療専門職の育成に貢献します。
- え 臨床遺伝専門医認定研修施設として、遺伝専門医の育成に貢献します。
- お **充実** 地域医療の提供体制を確保するため、市立湖西病院と連携強化を図り、医師、助産師等の派遣並びに両病院間の機能分化等を推進します。
- か 救急指定病院として救急搬送患者に対応する救急隊への勉強会や働きかけを行い、救急患者への対応力の向上と連携の強化に努めます。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
浜松医科大学学生臨床実習受入延べ人数	219 人	239 人	250 人	11 人
看護実習生受入延べ人数	6,524 人	7,155 人	7,500 人	345 人

### (4) 医学及び医療の向上に関する調査、研究

- あ 臨床研究管理センターが中心となり、医薬品等の治療効果や安全性を高めるために行われる治験への取り組みや、先進医療の推進と医療の発展に貢献します。
- い 「とおとうみ臨床試験ネットワーク」や「静岡県治験ネットワーク」へ継続的に参加し、治験及び臨床研究の受託件数増加に努めます。
- う 浜松医科大学と連携して共同治験及び共同臨床研究を進められるようシステムを構築し、アカデミックな分野のリサーチマインドの醸成を図ります。
- え **充実** がん薬物療法専門医のもと、肺がんの治験薬開発を支援し医療貢献を行います。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
治験実施件数	6 件	7 件	7 件	0 件
臨床研究実施件数	230 件	228 件	205 件	△23 件

## オ 医療の質及び安全の確保

### (7) 安全・安心な医療の提供

- あ 「報告する文化」を中心とした安全文化の醸成
  - (あ) 報告（目的・意義）についての啓蒙活動を継続し、インシデント・アクシデント報告、ヒヤリハット報告（未然防止できた事例）を推進します。

- (い) オカレンス報告（医療の質の指標となる事例報告）項目を見直し、報告制度の強化を図ります。
  - い 医療安全に関わるクリニカル・ガバナンスの強化のための組織編成
    - (あ) 医療安全に関わるクリニカル・ガバナンスの強化のため、医療安全推進室の構成メンバーを強化します。
    - (い) 医療安全に関わる事象のモニタリングを継続します。
    - (う) インシデント・アクシデント事例や患者安全活動などを院内外へ情報公開し、有害事象が発生した場合は、組織として検証及び改善に取り組み、クリニカル・ガバナンスを強化します。
    - (え) **充実** 高難度新規医療技術導入についての体制を確立します。
  - う 患者誤認防止対策の継続
    - 患者安全の基本である患者誤認防止対策を徹底するため、各部門による改善活動を継続します。
  - え インフォームド・コンセントの充実
    - 患者の知る権利と自己決定権を尊重し、説明と選択・同意に基づく医療を提供するため、当院のインフォームド・コンセントガイドラインに沿った説明文書・同意書の整備を強化します。
  - お 医療安全に関する職員教育
    - (あ) 発生した事例から学び活かすため、M&M カンファレンス、事例検討会等を積極的に開催するとともに、医療安全事例集を編集する等、「学習する文化」の醸成に努めます。
  - か 患者急変対応の質の向上と RRS（院内迅速対応システム）の 24 時間運用
    - (あ) 急変時対応シミュレーション訓練を継続し、蘇生処置の質向上を図ります。
    - (い) 予期しない院内心停止症例を減少させるため、RRS（院内迅速対応システム）を 24 時間運用します。
    - (う) RRS を定着させるため、職員教育を実施します。
  - き チーム医療の推進
    - チーム STEPPS 研修会や急変対応シミュレーションを継続し、チーム医療における相互支援、コミュニケーションの向上を図ります。
  - く 臨床倫理の充実
    - 臨床倫理に関わる問題を広く対応するため、医療倫理チームの活動を推進します。
  - け 外部評価の活用
    - 第三者評価により明確になった改善点を修正し、病院機能評価の指標を基に、継続的な医療の質の向上に努めます。
- (イ) 医療の標準化と最適な医療の提供
- あ 院内クリニカルパスの見直しを図り、医療の標準化、質の高い医療の提供に努めます。
  - い 高度急性期病院として 7 対 1 急性期一般入院料の基準を満たし、看護補助者と協働し、最適な医療サービスを提供します。

(ウ) 医療スタッフの確保

あ 医師の確保と負担軽減

- (あ) 救急医療、がん医療、高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、医師の育成及び確保に努めます。
- (い) 臨床研修医の要望や社会的な要請に合致した教育研修プログラムのさらなる充実及び処遇改善を図り、臨床研修医の受け入れ推進と定着を図ります。
- (う) 働き方改革に沿った勤務環境の改善を推進し、医師個人の負担軽減に努めます。

い 看護職及び医療技術職の確保と専門性の向上

- (あ) **充実** 新病院の新機能である重症集中(ICU)医療や救命救急(アンギオ装置、ハイブリッド ER・OR)医療等に、開院時から対応できるよう看護師、臨床工学技士、診療放射線技師を育成します。
- (い) 7対1急性期一般入院料の基準の維持並びに徹底した感染症対策を行うため、必要な看護師を確保します。
- (う) 専門医・認定専門看護師・専門技師等の資格取得の促進を図ります。
- (え) 専門性の高い特定行為研修修了看護師を積極的に養成するとともに、特定行為が安全かつ効果的に実践できる環境を推進し、看護の質及び医師の負担軽減を図ります。
- (お) 高度急性期医療の提供を実践する医師・看護師・診療放射線技師・臨床工学技士等の確保及び育成に努めます。

う 事務職員の確保と専門性の向上

- (あ) 事務職員を計画的に採用し、資質向上のためOJT教育の充実等を図ります。
- (い) 病院経営の中核的役割を果たせるよう、事務職員の育成に努めます。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
臨床研修医募集定員充足率	92.3%	92.3%	100%	7.7 ポイント
臨床研修医マッチング数	12 人	12 人	13 人	1 人
認定・専門看護師数	30 人	32 人	34 人	2 人
うち特定行為看護師数	2 人	3 人	6 人	3 人
100 床あたりの医師数	28.7 人	27.5 人	29.7 人	2.2 人
100 床あたりの看護師数	99.0 人	97.2 人	101.7 人	4.5 人

カ 患者サービスの向上

- (ア) 患者満足度調査や「患者のみなさまの声」から患者ニーズを把握し、そのニーズを満たすために迅速かつ柔軟な改善を行います。
- (イ) 看護補助者の充実により、入院患者への関わり等を拡充し、医療サービスの向上に努めます。
- (ウ) 新病院建設工事に伴う院内のローリング作業や新病院への移転準備により、患者動線に影響を与えないよう配慮し、患者視点に立ったサービスの提供に努めます。

キ 法令等の遵守と情報公開の推進

- (ア) 医療法等の関係法令を遵守し、院内の各種規程の整備及び見直しを図ります。

- (イ) インフォームド・コンセントの一層の徹底、カルテやレセプト等医療情報の開示請求、セカンド・オピニオンの対応について、適切に取り扱い、患者及びその家族の信頼向上に努めます。

## (2) 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### ア PDCA サイクルによる経営戦略の構築

PDCA サイクル (Plan (計画) →Do (実行) →Check (評価) →Action (改善) の繰り返し) を用いて、計画的かつ継続的に改善活動を実施します。

### イ 適正な人事配置と評価

- (ア) 新病院での機能を発揮するため、高度な専門知識と技術が提供できる優れた医療従事者を適切に配置します。
- (イ) 健全な経営を維持するため、業務の効率化を図り、適正かつ必要な人員配置をします。

### ウ 職員の就労環境の整備

- (ア) 日常業務の質の向上を図り、患者の安全を守るために必要な職員の就労環境を整備します。
- (イ) 職員個々の能力を發揮できるよう、職種・職場の事情に応じた柔軟な勤務形態を取り入れます。
- (ウ) 勤務環境の改善を通じ、職員が健康で安心して働くことができる環境整備を促進するとともに、離職の防止に努めます。
- (エ) 医師、看護師等の業務のタスクシフトに取り組み、生産性向上と働き方改革に沿った勤務環境改善を推進します。

## (3) 財務内容の改善に関する事項

### ア 収入の確保

- (ア) **新規** 急性期充実体制加算や看護補助体制充実加算等の新規施設基準の取得により診療収入の増加を図ります。また、新病院から届出可能な新規施設基準への早期取得を目指します。
- (イ) **充実** 病床管理システムを活用し空床の把握や病床稼働率の状況を院内で共有し、DPC 期間Ⅱ以内の退院率 70%を目標に効率的な病床管理を行うとともに、新入院患者や手術件数等の増加に向けた取り組みを行い、収益性の向上を図ります。
- (ウ) 専門外来を充実し紹介患者の増加に努めます。また、新病院では各診療科の外来日を効率よく整備するとともに、日帰り外来手術を増やす等の見直しを図り、外来患者及び外来診療単価の増加を図ります。
- (エ) DPC 分析システム及び原価計算システムによる分析結果をもとに、経営改善を実施し、適正な収益の確保に努めます。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標	増減(R5-R4)
入院患者延べ数	168,417 人	164,214 人	173,484 人	9,270 人
1 日平均入院患者数	461 人	450 人	474 人	24 人
病床利用率	76.9%	75.0%	79.0%	4.0 割
平均在院日数	12.6 日	12.2 日	12.2 日	0 日
外来患者延べ数	236,116 人	235,725 人	239,355 人	3,630 人
1 日平均外来患者数	976 人	970 人	985 人	15 人

#### イ 費用の節減

- (7) 医薬品や診療材料の調達に際して、ベンチマークシステムを活用し、さらなる価格交渉の徹底を図ります。
- (4) 医薬品購入費の削減を図るため、新規採用薬品の厳密な選定、同種同効薬の整理、院内各部署における定数配置薬の整理等を行うとともに、管理の強化を図ります。
- (7) 診療材料における在庫管理体制の強化を行い、使用期限切れを防ぎます。
- (5) **充実** 業務委託契約、賃貸借契約等について、原則、競争原理を働かせる手法により契約内容及び契約金額の見直しを行い、委託費・賃借料の費用を抑えます。
- (4) 医療の質、医療安全の確保等に配慮した職員の合理的な採用と配置を進め、人件費比率の適正化に努めます。

#### ウ 経常収支比率の均衡

- (7) 公立病院の責務として、不採算医療を担うとともに、高度・専門医療を提供し地域の医療水準の向上に貢献するなど、常に公共性と経済性を共に発揮し、地域住民の医療を確保します。
- (4) 必要な公的負担を受けながら、最少経費によって最大効果を得られるよう効率的な運営を行うとともに、特定費用準備資金を活用するなど令和 3 年度から 7 年度までの期間を通じて収支均衡を図れるよう収支計画を策定します。

目標指数	R3 年度実績	R4 年度見込み	R5 年度目標	増減(R5-R4)
給与費対医業収益率	53.8%	52.2%	50.1%	△2.1 割
材料費対医業収益率	29.4%	31.6%	29.6%	△2.0 割
主な内訳	薬品費	17.7%	18.8%	△1.0 割
	診療材料費	10.7%	11.7%	△0.9 割

#### (4) その他業務運営に関する重要事項

##### ア 新病院整備事業

- (7) 浜松市（病院管理課）と設計、施工者と協同・連携のもと、令和 6 年 1 月の開院とともに病院運営が開始できるよう建設整備を確実に進めます。
- (4) 新病院の医療機能に沿った各部門の運用計画及び新病院へ継続移行する業務委託等の計画を策定し、その計画を基に遅延なく実行します。
- (7) 新病院の医療機器備品整備並びに医療情報システム整備を着実に進めます。
- (5) **新規** 新病院への患者移送・什器搬送等を含めた移転計画を移転業者と検討、協議を進め、円滑な新病院への移転（引越）を果たします。

イ 医療と介護の連携推進事業の支援

- (ア) 地域包括ケアシステムの構築に向け、医療及び介護の連携推進事業を推進し、公立病院の役割を果たします。
- (イ) 地域包括支援センターや地域の介護福祉施設等との連携強化を図り、在宅医療・介護連携に関する相談支援に努めます。

ウ 公立病院の連携・支援

- (ア) 西部医療圏の地域医療を確保するため、医師派遣等の支援を行います。
- (イ) 西部医療圏の公立病院と連携を深め、救急医療及び入院治療等の提供を積極的に行い、病病連携の推進に取り組みます。
- (ウ) 西部医療圏の大学病院及び公立病院間の地域医療連携推進によるシステム連携の構築を検討し、地域医療の質の向上及び安定供給を図ります。

エ 職員の子ども及び地域の子どもに対する保育の提供に関する業務

地域型保育事業の認定を受けたあゆみ保育園において、職員の子ども及び地域の子どもに対する保育の提供を行い、公立病院として地域を含めた働きやすい環境整備に努めます。

令和 5 年度

予 算 の 状 況

## 令和5年度 公益財団法人浜松市医療公社 収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
※一般正味財産のみ			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,797	2,797	0
基本財産運用益計	2,797	2,797	0
②特定資産運用益			
特定資産受取利息	14,066	7,410	6,656
特定資産運用益計	14,066	7,410	6,656
③事業収益			
入院収益	13,427,662	12,814,785	612,877
外来収益	4,667,423	4,617,000	50,423
室料差額収益	307,002	255,641	51,361
保健予防活動収益	335,227	332,960	2,267
受託検査・施設利用収益	20,136	19,613	523
その他の医業収益	251,421	243,468	7,953
事業収益計	19,008,871	18,283,467	725,404
④受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	8,282	8,302	△ 20
受取地方公共団体交付金	871,750	870,962	788
受取補助金等計	880,032	879,264	768
⑤受取負担金			
受取負担金	16,425	16,800	△ 375
受取寄附金計	16,425	16,800	△ 375
⑥受取寄附金			
受取寄附金	11,000	150	10,850
受取寄附金計	11,000	150	10,850
⑦雑収益			
受託事業収益	32,091	41,934	△ 9,843
受取利息	12	7	5
駐車場使用料	44,520	42,267	2,253
治験受託収入	12,279	10,189	2,090
P E T収入	0	9,000	△ 9,000
保育料	89,031	104,844	△ 15,813
雑収益	33,157	35,304	△ 2,147
雑収益計	211,090	243,545	△ 32,455
経常収益計	20,144,281	19,433,433	710,848
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	16,657	6,786	9,871
給料手当	7,487,883	7,289,408	198,475
臨時雇賃金	468,139	415,186	52,953
退職給付費用	400,524	480,758	△ 80,234
法定福利費	1,159,288	1,113,137	46,151
福利厚生費	32,835	32,679	156
旅費交通費	4,035	3,925	110

科目	予算額	前年度予算額	増減
通信運搬費	20,788	19,646	1,142
減価償却費	277,844	214,607	63,237
材料費	5,701,847	5,467,776	234,071
消耗備品費	76,544	12,063	64,481
消耗品費	63,719	54,149	9,570
修繕費	244,828	223,960	20,868
印刷製本費	11,332	9,151	2,181
燃料費	1,025	2,844	△ 1,819
光熱水料費	480,784	288,108	192,676
賃借料	272,465	260,214	12,251
保険料	34,759	31,260	3,499
租税公課	39,104	39,119	△ 15
支払負担金	958,490	981,181	△ 22,691
（うち指定管理者負担金変動分）	(0)	(0)	(0)
委託費	2,187,148	1,983,321	203,827
手数料	10,626	10,258	368
研究研修費	95,901	89,291	6,610
看護師養成費	42,650	25,550	17,100
棚卸資産廃棄損	7,295	6,676	619
貸倒引当金繰入額	1,715	3,593	△ 1,878
雑費	12,447	9,709	2,738
事業費計	20,110,672	19,074,355	1,036,317
②管理費			
役員報酬	8,110	3,304	4,806
給料手当	95,976	93,432	2,544
臨時雇賃金	1,421	1,260	161
退職給付費用	16,688	20,031	△ 3,343
法定福利費	16,282	15,634	648
福利厚生費	1,597	1,589	8
旅費交通費	2,807	2,731	76
通信運搬費	822	777	45
減価償却費	4,698	3,629	1,069
消耗備品費	2,748	433	2,315
消耗品費	2,363	2,008	355
修繕費	752	688	64
印刷製本費	98	79	19
燃料費	15	42	△ 27
光熱水料費	2,416	1,448	968
賃借料	1,176	1,123	53
保険料	9	8	1
支払負担金	3,134	3,208	△ 74
委託費	13,088	11,868	1,220
手数料	40	39	1
研究研修費	1,820	1,695	125
雑費	1,474	1,150	324
管理費計	177,534	166,176	11,358
經常費用計	20,288,206	19,240,531	1,047,675
当期一般正味財産増減額	△ 143,925	192,902	△ 336,827
一般正味財産期首残高	1,902,794	1,232,314	670,480
一般正味財産期末残高	1,758,869	1,425,216	333,653

## 収支予算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
※一般正味財産のみ			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,797	-	2,797
基本財産運用益計	2,797	0	2,797
②特定資産運用益			
特定資産受取利息	14,066	-	14,066
特定資産運用益計	14,066	0	14,066
③事業収益			
入院収益	13,427,662	-	13,427,662
外来収益	4,667,423	-	4,667,423
室料差額収益	141,897	165,105	307,002
保健予防活動収益	335,227	-	335,227
受託検査・施設利用収益	20,136	-	20,136
その他の医業収益	251,421	-	251,421
事業収益計	18,843,766	165,105	19,008,871
④受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	8,282	-	8,282
受取地方公共団体交付金	871,750	-	871,750
受取補助金等計	880,032	0	880,032
⑤受取負担金			
受取負担金	16,425	-	16,425
受取負担金計	16,425	0	16,425
⑥受取寄附金			
受取寄附金	11,000	-	11,000
受取寄附金計	11,000	0	11,000
⑦雑収益			
受託事業収益	32,091	-	32,091
受取利息	12	-	12
駐車場使用料	44,520	-	44,520
治験受託収入	12,279	-	12,279
P E T収入	0	-	0
保育料	89,031	-	89,031
雑収益	20,728	12,429	33,157
雑収益計	198,661	12,429	211,090
経常収益計	19,966,747	177,534	20,144,281
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	16,657	-	16,657
給料手当	7,487,883	-	7,487,883
臨時雇賃金	468,139	-	468,139
退職給付費用	400,524	-	400,524
法定福利費	1,159,288	-	1,159,288
福利厚生費	32,835	-	32,835
旅費交通費	4,035	-	4,035

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
通信運搬費	20,788	-	20,788
減価償却費	277,844	-	277,844
材料費	5,701,847	-	5,701,847
消耗備品費	76,544	-	76,544
消耗品費	63,719	-	63,719
修繕費	244,828	-	244,828
印刷製本費	11,332	-	11,332
燃料費	1,025	-	1,025
光熱水料費	480,784	-	480,784
賃借料	272,465	-	272,465
保険料	34,759	-	34,759
租税公課	39,104	-	39,104
支払負担金	958,490	-	958,490
（うち指定管理者負担金変動分）	(0)	(0)	(0)
委託費	2,187,148	-	2,187,148
手数料	10,626	-	10,626
研究研修費	95,901	-	95,901
看護師養成費	42,650	-	42,650
棚卸資産廃棄損	7,295	-	7,295
貸倒引当金繰入額	1,715	-	1,715
雑費	12,447	-	12,447
事業費計	20,110,672	0	20,110,672
②管理費			
役員報酬	-	8,110	8,110
給料手当	-	95,976	95,976
臨時雇賃金	-	1,421	1,421
退職給付費用	-	16,688	16,688
法定福利費	-	16,282	16,282
福利厚生費	-	1,597	1,597
旅費交通費	-	2,807	2,807
通信運搬費	-	822	822
減価償却費	-	4,698	4,698
消耗備品費	-	2,748	2,748
消耗品費	-	2,363	2,363
修繕費	-	752	752
印刷製本費	-	98	98
燃料費	-	15	15
光熱水料費	-	2,416	2,416
賃借料	-	1,176	1,176
保険料	-	9	9
支払負担金	-	3,134	3,134
委託費	-	13,088	13,088
手数料	-	40	40
研究研修費	-	1,820	1,820
雑費	-	1,474	1,474
管理費計	0	177,534	177,534
經常費用計	20,110,672	177,534	20,288,206
当期一般正味財産増減額	△ 143,925	0	△ 143,925
一般正味財産期首残高	1,902,794	0	1,902,794
一般正味財産期末残高	1,758,869	0	1,758,869



## 予定貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：千円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	1,921,412	2,034,000	△ 112,588
医業未収金	3,181,893	2,351,097	830,796
未収金	441,261	535,904	△ 94,643
貯蔵品	269,136	244,515	24,621
前払費用	26,192	20,044	6,148
仮払金	913	723	190
立替金	472	855	△ 383
貸倒引当金	△ 116,451	△ 101,378	△ 15,073
流動資産合計	5,724,828	5,085,760	639,068
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産	505,000	505,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,900,000	3,600,000	300,000
寄附金基金	28,857	18,013	10,844
中期計画の収支変動準備資産	1,171,577	837,925	333,652
特定資産合計	5,100,434	4,455,938	644,496
(3) その他固定資産			
リース資産	3,071,705	201,548	2,870,157
敷金	1,082	1,082	0
その他固定資産合計	3,072,787	202,630	2,870,157
固定資産合計	8,678,221	5,163,568	3,514,653
資産合計	14,403,049	10,249,328	4,153,721
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	2,420,902	1,336,782	1,084,120
未払費用	65,767	68,302	△ 2,535
預り金	95,799	81,826	13,973
リース債務	560,922	150,291	410,631
賞与引当金	449,291	464,546	△ 15,255
流動負債計	3,592,681	2,101,747	1,490,934
<b>2 固定負債</b>			
リース債務	2,510,783	51,257	2,459,526
退職給付引当金	6,511,859	6,653,095	△ 141,236
固定負債合計	9,022,642	6,704,352	2,318,290
負債合計	12,615,323	8,806,099	3,809,224
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
寄附金	28,857	18,013	10,844
指定正味財産合計	28,857	18,013	10,844
(うち特定資産への充当額)	(18,013)	(18,013)	(0)
<b>2 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	(505,000)	(505,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,171,577)	(837,925)	(333,652)
正味財産合計	1,787,726	1,443,229	344,497
負債及び正味財産合計	14,403,049	10,249,328	4,153,721

## 資金計画

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度予算額
1 受入資金	
1 基本財産運用収入	2,797
2 特定資産運用収入	14,066
3 事業収入	19,008,871
4 補助金等収入	880,032
5 市交付金収入（過年度分）	0
6 負担金収入	16,425
7 寄付金収入	11,000
8 雑収入	211,090
当期収入合計額	20,144,281
前期繰越収支差額	1,804,200
収入合計	21,948,481
2 支払資金	
1 事業費支出	19,565,278
2 管理費支出	177,534
3 その他支出	284,257
当期支出合計額	20,027,069
当期収支差額	117,212
次期繰越収支差額	1,921,412

## 給与費明細書

区 分	職 員 数	給 与				臨 時 雇 賃 金	法 定 福 利 費	計
		役員報酬	給 料	手 当	小 計			
本年度 当 初 予 算 額	役員・評議員 13 人 一般職員 1,085 人 継続雇用職員 23 人 計 1,121 人	千円 24,767	千円 4,020,979	千円 3,562,880	千円 7,608,626	千円 469,560	千円 1,175,570	千円 9,253,756
前年度 当 初 予 算 額	役員・評議員 13 人 一般職員 1,063 人 継続雇用職員 28 人 計 1,104 人	10,090	3,925,403	3,457,437	7,392,930	416,446	1,128,771	8,938,147
比 較	役員・評議員 0 人 一般職員 22 人 継続雇用職員 △ 5 人 計 17 人	14,677	95,576	105,443	215,696	53,114	46,799	315,609

※役員数は、常勤及び非常勤の報酬支給対象者数

### 手当内訳

区 分	扶養手当	調整手当	通勤手当	住居手当	特殊勤務 手当	時間外勤務 手当
本年度 当 初 予 算 額	千円 66,828	千円 119,776	千円 63,679	千円 125,269	千円 927,456	千円 505,411
前年度 当 初 予 算 額	67,770	118,075	63,406	127,068	870,302	527,290
比 較	△942	1,701	273	△1,799	57,154	△21,879

区 分	管理職手当	深夜勤務手当	宿日直手当	期末手当	勤勉手当	計
本年度 当 初 予 算 額	千円 77,421	千円 74,858	千円 99,374	千円 869,688	千円 633,120	千円 3,562,880
前年度 当 初 予 算 額	76,046	80,676	88,225	850,404	588,175	3,457,437
比 較	1,375	△5,818	11,149	19,284	44,945	105,443